

基本理念

目的（存在理由）

社会への貢献

わたしたちは
社会に役立ち、人々の心や暮らしを豊かにし、
よって社会に貢献することを目的とします。

基本的価値観（不変の主義）

1 開拓の精神

わたしたちは、失敗を恐れず、情熱を持って、
未開の地（新しい分野）に挑戦することを誇りとします。

2 不断の努力

わたしたちは、弛みない努力によって、
困難に打ち勝ち、目的の実現に至ることを喜びとします。

3 誠実な意志

わたしたちは、わたしたちを支える人々*に対し、
揺らぐことのない誠実な意志によって行動します。

*「わたしたちを支える人々」とはステークホルダー
（お客様、サプライヤー、株主・投資家、従業員とその家族など）を指します。

株主の皆様へ



平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
ここに第45期中間（平成25年4月1日～平成25年9月
30日）報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当第2四半期連結累計期間（当上期）における日本経済は、景気の回復基調が顕著となり、設備投資も拡大へと転じました。その一方で、円安による輸入資材の価格上昇やエネルギー価格の高騰によるコスト増が各種商品やサービスの価格に転嫁されつつあり、加えて来年施行される消費税率引き上げの影響も懸念されるなど、先行きは予断を許さない状況となっています。

このような状況の中、当社は、旺盛な需要に対応するため、新工場建設および既存工場の設備増強によって生産

能力の強化を図り、全国的なレンタル・販売の需要拡大に対応してきました。

当社のポリシーである「必要な時に必要なスペースを必要な設備とともに提供する」を実践することで、当社のユニットハウスは、従来の仮設建設市場のみならず、ここ数年来開拓を続けてきた本建築市場、不動産市場においても、その優位性を十分発揮できるものと確信しています。今後も、「建築の工業化」という当社のコア技術をさらに高めていくことで新たな市場の開拓を推進していきます。

今後とも創業当時から受け継がれてきたフロンティアスピリッツ（開拓の精神）を原点に、社会に貢献する会社となることを目指していきます。

当上期の業績について

ユニットハウスのレンタルは、公共投資予算の増加に加え、民間の設備投資の増加の影響により、全国的に出荷が好調に推移しました。また、前期から取り組んでいるエアコンシステムや電気配線と電気設備をユニットハウスと一体化した配電システムによって、ユニットハウスの付加価値を向上させることで引き続き受注拡大に努めました。トランクルームにおいても、新たに25店舗を出店し、売上拡充を図りました。

ユニットハウスの販売では、新規展示場の出店に加え、既存店舗のリニューアルも積極的に行い、販売チャネルの拡充に努めるとともに、販売能力の向上を図り、オフィ

スや店舗など本建築物件の受注に注力しました。

また、供給体制の強化を図るため、つくば工場を新設し、平成25年9月に稼働を開始しました。

上記の結果、当上期の連結売上高は12,467百万円（前年同期比6.7%増）となりました。

利益面においては、営業利益1,476百万円（前年同期比13.0%減）、経常利益1,435百万円（前年同期比19.7%減）、四半期純利益749百万円（前年同期比28.0%減）になりました。

なお、レンタル資産の増強を行った結果、当上期末における総資産は、前期末に対し3,314百万円増加し43,615百万円となりました。また純資産の合計額は、前期末に対し465百万円増加し20,506百万円となりました。

今後とも、リユース可能なユニットハウスの特長を活かし、期間限定で空間を必要とするニーズを開拓し、業績の拡大に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

平成25年12月

代表取締役社長 長妻貴嗣